

第42回（2024年度）インテリアコーディネーター資格試験
二次試験（プレゼンテーション）の解説

（公社）インテリア産業協会

1. 課題の要旨

今回は、60歳代半ばの一人暮らしの男性が暮らす集合住宅の「居室」と「バルコニー部分」のインテリアコーディネート提案する課題で、ユニット式収納家具でコーナーが適切に区切られていることがポイントである。

2. 「平面図」を解答するうえでのポイント

1)	与条件の理解	ゾーニングの適切さ
2)	図面による表現	図面の丁寧さと正確さ、家具表現の適切さ
3)	着彩による表現	着彩の範囲と丁寧さ、着彩の効果
4)	インテリアの計画	家具の寸法・数の適切さ、家具・ウインドートリートメント・ 絵画・観葉植物の配置の適切さ、動線の適切さ、照明計画の適切さ
5)	2)～4)の具体的な留意点	①動作や歩行に支障がないように通路幅等を確保する ②床の目地線は省略せずに正確に表現する ③家具や床の質感がわかるように丁寧に着彩する ④家具は正確な大きさで形状がわかるように表現する ⑤家具や建具の開閉記号は必ず記入する ⑥室名・コーナー名・家具名称・床仕上げ材の名称を記入する ⑦照明器具は場所と用途に応じて適切な種類・個数を選択する

3. 「立・断面図」を解答するうえでのポイント

1)	図面による表現	図面の丁寧さと正確さ
2)	着彩による表現	着彩の範囲と丁寧さ、着彩の効果
3)	インテリアの計画	家具の寸法・構造の適切さ、平面図との整合性
4)	1)～3)の具体的な留意点	①指定された断面位置から見えるものはすべて表現する ②床・壁・天井の断面線は必ず表現する ③幅木や家具の台輪も表現する ④断面位置に開口部がある場合は建具断面とウインドートリートメントも表現する ⑤ウインドートリートメントは人の出入りに支障がないように計画する ⑥主要な部分の寸法・仕上げ材を記入する